

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年2月23日(2017.2.23)

【公開番号】特開2016-179270(P2016-179270A)

【公開日】平成28年10月13日(2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2016-059

【出願番号】特願2016-137361(P2016-137361)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月16日(2017.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

回路基板を収納する第1部材及び第2部材からなる基板ケースと、

前記第1部材と前記第2部材とを封止状態とするために用いられる封印シールと、
を備え、

前記封印シールは、

該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消える溶剤変化部と、

封印シールを識別可能な識別情報が表示された第1識別情報表示部と、

識別情報が符号化されることにより表示された第2識別情報表示部と、

を有し、

前記基板ケースに貼付されたときに互いに同方向を向く部分に前記第1識別情報表示部と前記第2識別情報表示部とが配置され、

前記第1識別情報表示部と前記第2識別情報表示部とは、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものであり、

前記遊技機は、前記基板ケースに貼付された前記封印シールを被覆可能な封印シール被覆部材をさらに備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記課題を解決するために、本発明の請求項1に記載の遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
回路基板を収納する第1部材及び第2部材からなる基板ケースと、
前記第1部材と前記第2部材とを封止状態とするために用いられる封印シールと、
を備え、
前記封印シールは、
該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消
える溶剤変化部と、
封印シールを識別可能な識別情報が表示された第1識別情報表示部と、
識別情報が符号化されることにより表示された第2識別情報表示部と、
を有し、
前記基板ケースに貼付されたときに互いに同方向を向く部分に前記第1識別情報表示部
と前記第2識別情報表示部とが配置され、
前記第1識別情報表示部と前記第2識別情報表示部とは、前記所定の溶剤が用いられた
ときに表示内容が消えないものであり、
前記遊技機は、前記基板ケースに貼付された前記封印シールを被覆可能な封印シール被
覆部材をさらに備える
ことを特徴としている。
この特徴によれば、不正行為を抑制することができる。